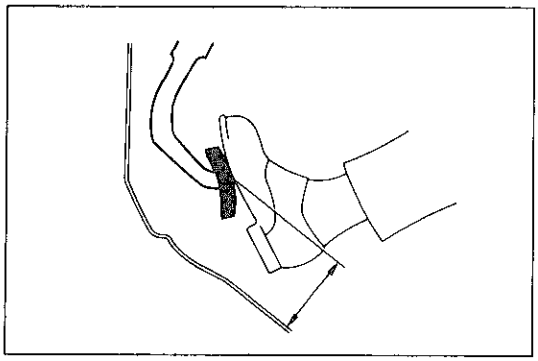
6 ブレーキ

変更概要 …… 6－2
ブレーキ点検，調整 …… 6－2
ブレーキペダル点検，調整 …… 6－2
フロントブレーキ …… 6－2
準備品 …… 6－2
脱着分解構成図 …… 6－3
ディスク点検 …… 6－3
リヤブレーキ …… 6－4
準備品 …… 6－4
脱着分解構成図 …… 6－5
ディスク点検 …… 6－5
デュアルPバルブ …… 6－6
アンチロックブレーキシステム（ABS） …… 6－7
準備品 …… 6－7
部品配置図 …… 6－7
機能点検 …… 6－8
コンピューターコード点検およびスピードセンサー機能点検 …… 6－8
デセラレーションセンサー機能点検 …… 6－10
トラブルシューティング …… 6－13
トラブルシューティングの進め方 …… 6－13
ダイアグノーシス点検 …… 6－13
現象別チャート …… 6－16
単体点検 …… 6－21
リヤスピードセンサー …… 6－21
デセラレーションセンサー …… 6－21
ABSコンピューター …… 6－22

無断複製禁止

変更概要

トヨタ　セリカ修理書（品番62314，1989年９月発行）の内容に以下の項目を追加しました。
1　ブレーキペダル踏み残りしろ基準値
2　フロントブレーキ修理要領
3　リヤブレーキ修理要領
4　デュアルＰバルブ基準値
5　アンチロックブレーキシステム（ABS）点検要領


X 0687

ブレーキ点検，調整

ブレーキペダル点検，調整

1　ペダル踏み残りしろ点検

(1)　アイドル回転時パーキングブレーキレバーを戻した状態で，ペダルを踏力50kgで踏み込んで止まった位置と床板とのすき間を測定する。

基準値　（フロアパネル上面から）
80mm以上（ABSなし車）
75mm以上（ABS付き車）

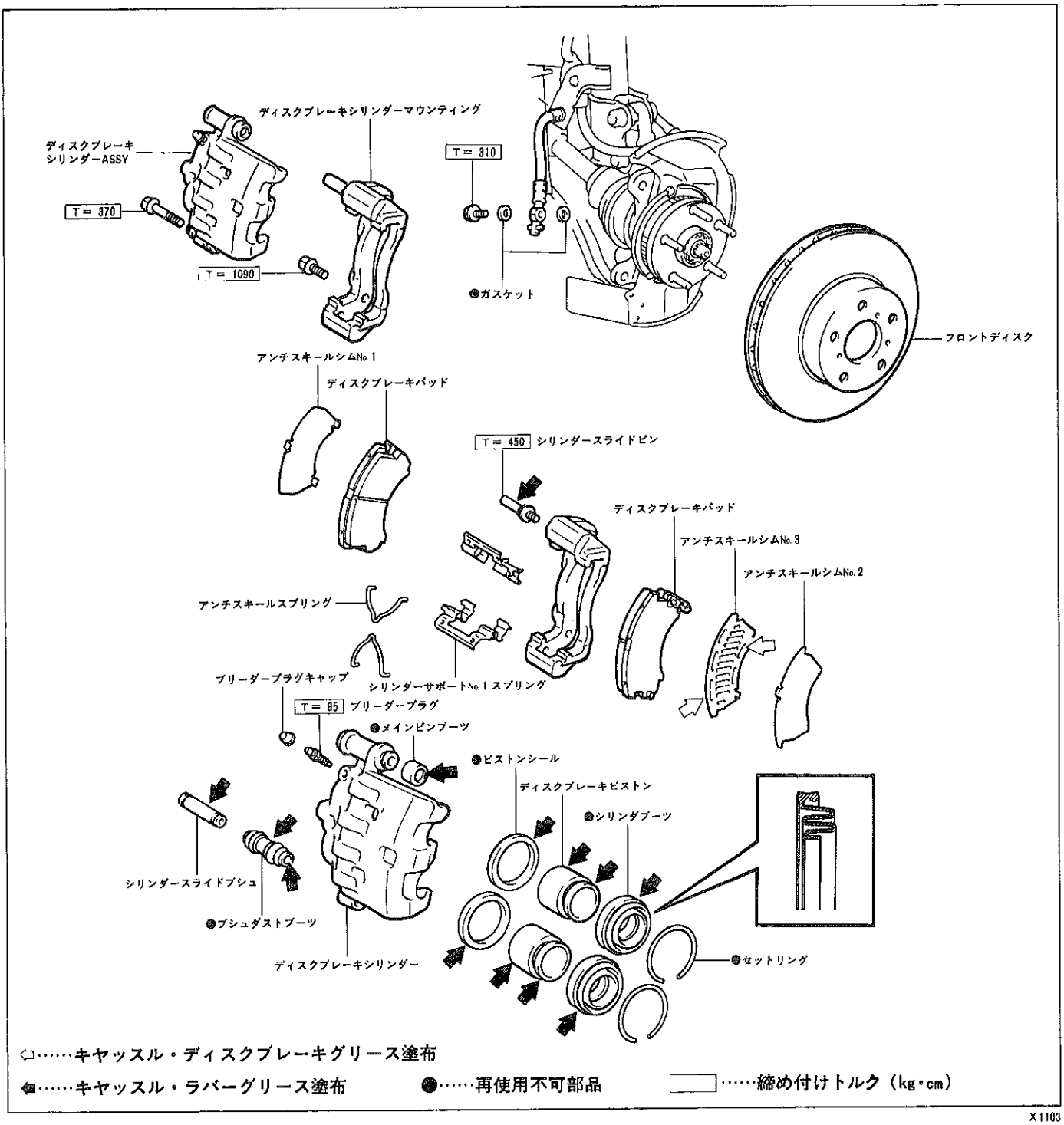
フロントブレーキ

準　備　品

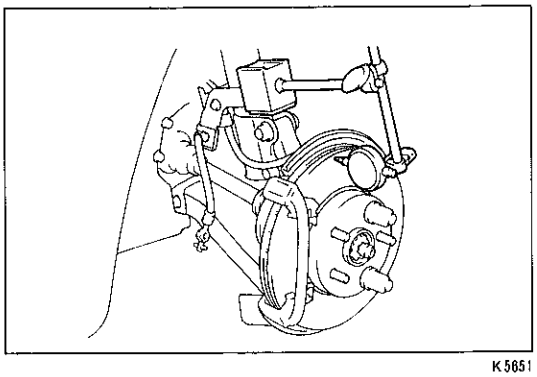
計　器	ダイヤルゲージ	ディスクの振れ点検用
油　脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H	ブレーキエア抜き用
	キヤッスル・ラバーグリース	各部への塗布用
	キヤッスル・ディスクブレーキグリース	アンチスキールシムNo.３への塗布用

無断複製禁止

脱着分解構成図



X1103



K5651

ディスク点検

1　ディスクの振れ点検

(1)　ディスクの振れ点検前に，フロントホイールベアリングのガタがないことを点検する。

(2)　ダイヤルゲージを使用して，ディスク外側端面の振れを測定する。

限　度　　0.07mm（外周より10mm内側の点）

無断複製禁止

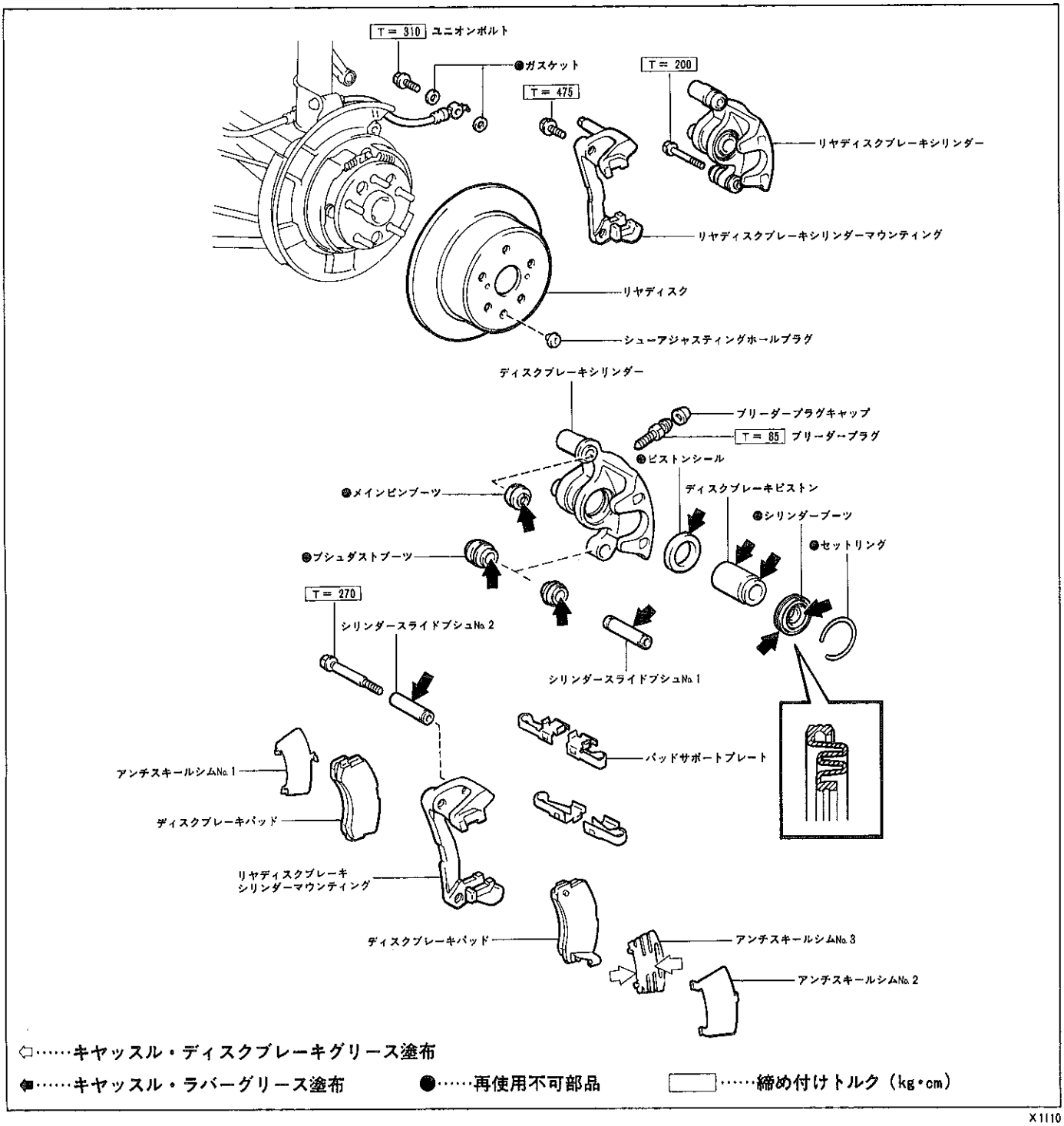
リヤブレーキ

準　備　品

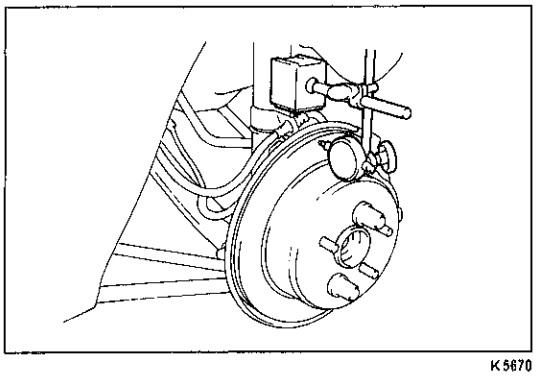
計　器	ダイヤルゲージ	ディスクの振れ点検用
油　脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H	ブレーキエア抜き用
	キヤッスル・ラバーグリース	各部への塗布用
	キヤッスル・ディスクブレーキグリース	アンチスキールシムNo.3への塗布用

無断複製禁止

脱着分解構成図



X1110



K5670

ディスク点検

1　ディスクの振れ点検

(1) ディスクの振れ点検前に，リヤホイールベアリングのガタがないことを点検する。

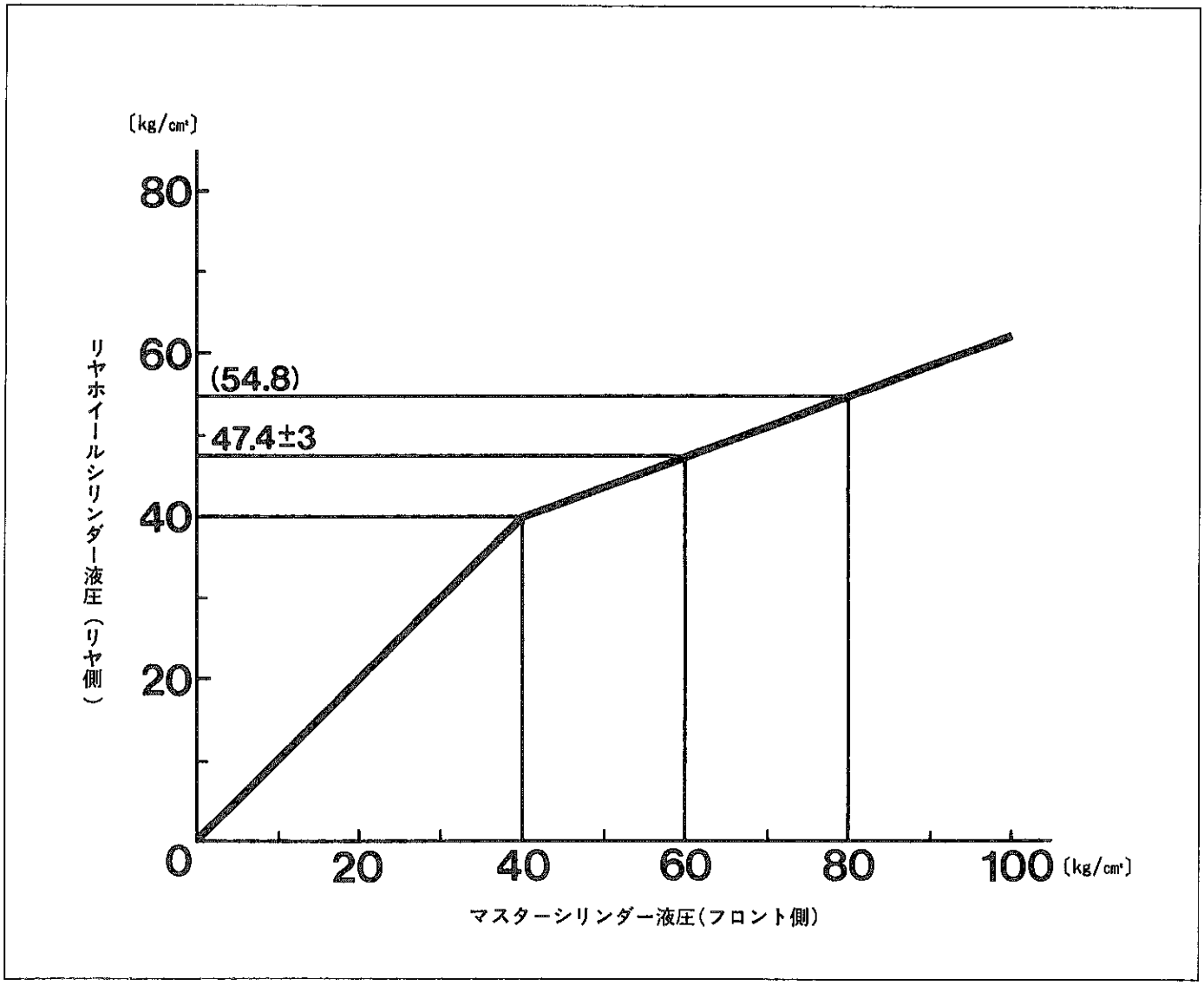
(2) ダイヤルゲージを使用して，ディスク外側端面の振れを測定する。

限　度　0.15mm（外周より10mm内側の点）

無断複製禁止

デュアルPバルブ

基準値

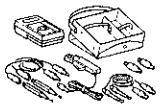
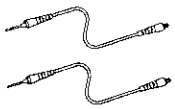


X1104

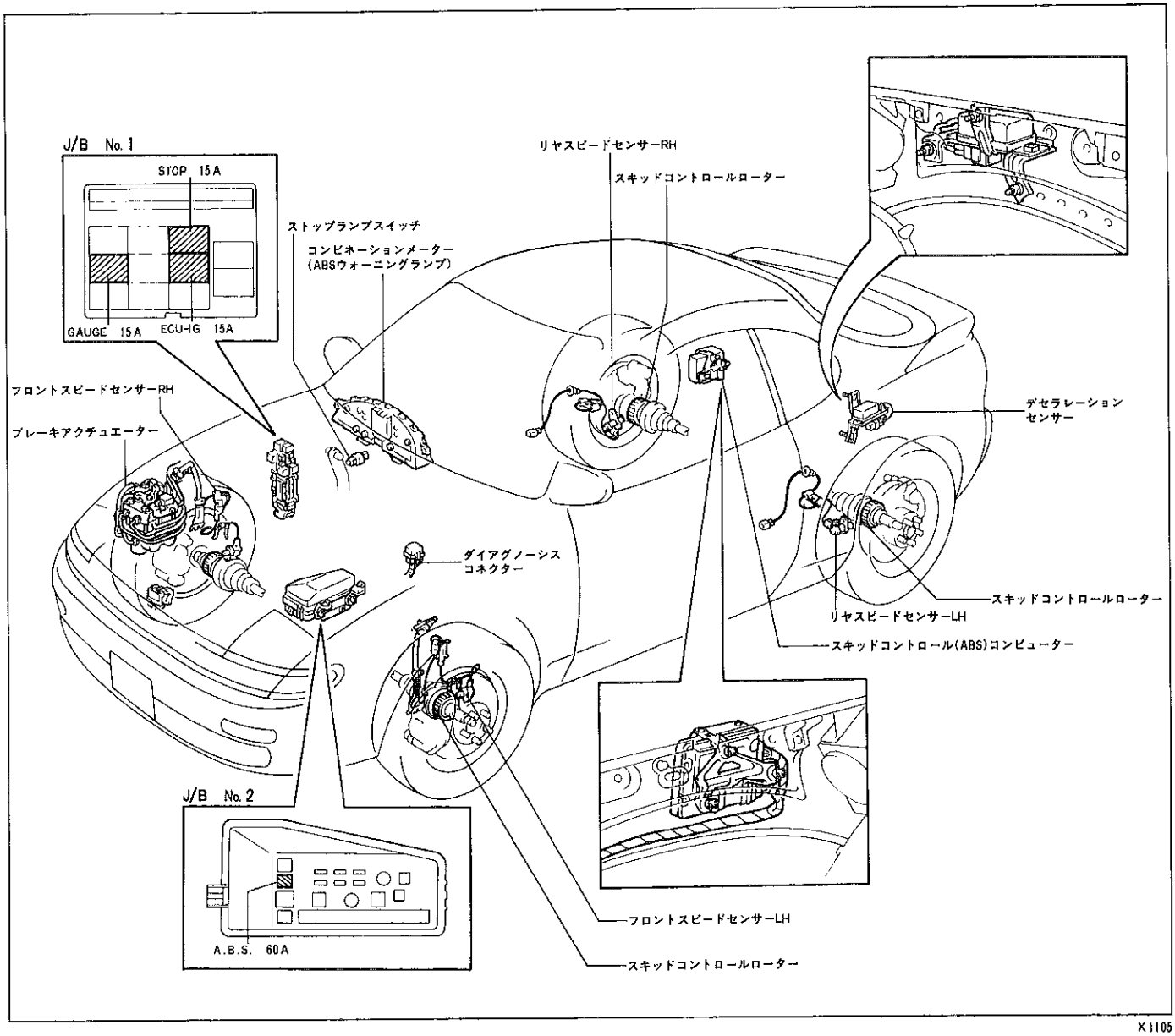
無断複製禁止

アンチロックブレーキシステム（ABS）

準　備　品

計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060　ミニテストリード	コンピューター点検用
		09843-18020　ダイアグノーシスチェックワイヤ	機能点検用

部品配置図



X1105

無断複製禁止

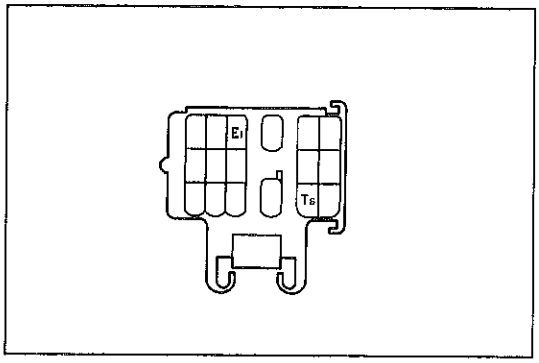
機能点検

コンピューターコード点検および スピードセンサー機能点検

注意　ダイアグノーシス記憶中に点検を行う場合は，ダイアグノーシスの記憶を消去してから点検する。

1　バッテリー電圧点検

基準値　10～14V（エンジン停止時）



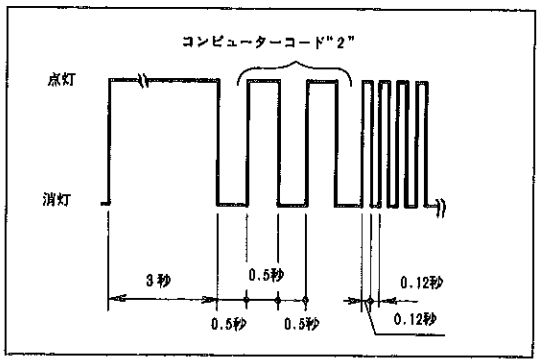
SH-18-1

2　ダイアグノーシスコネクターTs－E1端子短絡

(1)　イグニッションスイッチをOFFにする。

(2)　ダイアグノーシスコネクターのカバーを開け，Ts－E1端子間を短絡する。

注意　コネクターの接続位置を間違えると故障の原因となるため絶対に間違えない。

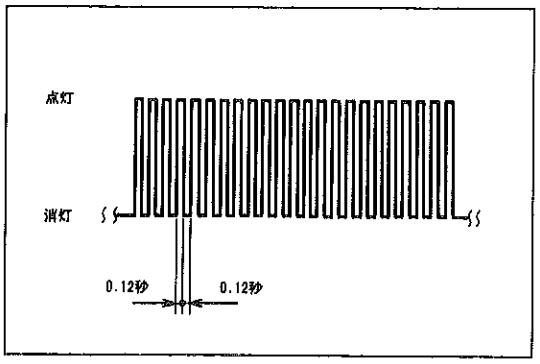


X1106

3　コンピューターコード点検

(1)　パーキングブレーキレバーを引き，ブレーキペダルを踏まずにイグニッションスイッチをONにしたとき，ABSウォーニングランプが図のように点滅することを点検する。

〈参考〉・イグニッションスイッチ　ON後，1回のみコンピューターコード"2"を出力する。
・コードが違う場合は，コンピューターの誤品が考えられる。



K2702

4　スピードセンサー機能点検

(1)　パーキングブレーキレバーを引き，ブレーキペダルを踏まずにイグニッションスイッチをONにする。

(2)　コンピューターコード出力後，図のようにABSウォーニングランプが点滅していることを確認する。

(3)　エンジンを始動し，パーキングブレーキレバーを戻す。

(4)　各速度で直進走行し，ABSウォーニングランプの点滅および点灯状態を点検する。

基　準

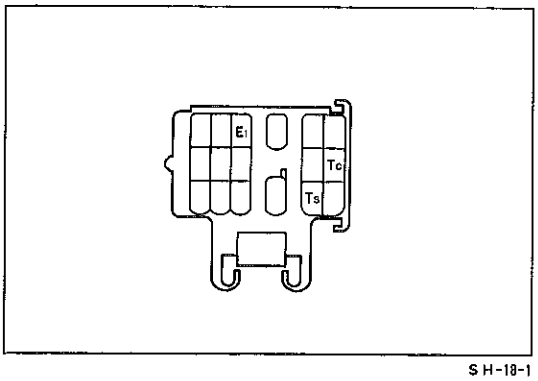
車速(km/h)	0～3	4～6	7～44	45～55	56以上
ABSウォーニング	点滅(正常)	1秒間消灯	点滅(正常)	1秒間消灯	点滅(正常)
ランプ状態	点灯(異常)	後　点　灯	点灯(異常)	後　点　灯	点灯(異常)

〈参考〉・車速4～6km/hはスピードセンサーの出力電圧を点検。
・車速45～55km/hはスピードセンサーの出力電圧の変動を点検。

(5)　車両を停止させる。

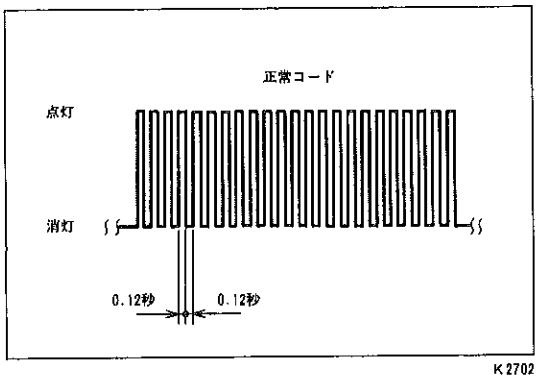
(6)　ダイアグノーシスコネクターTc－E1端子間を短絡する。

注意　ダイアグノーシスコネクターTs－E1端子間は開放しない。



SH-18-1

無断複製禁止

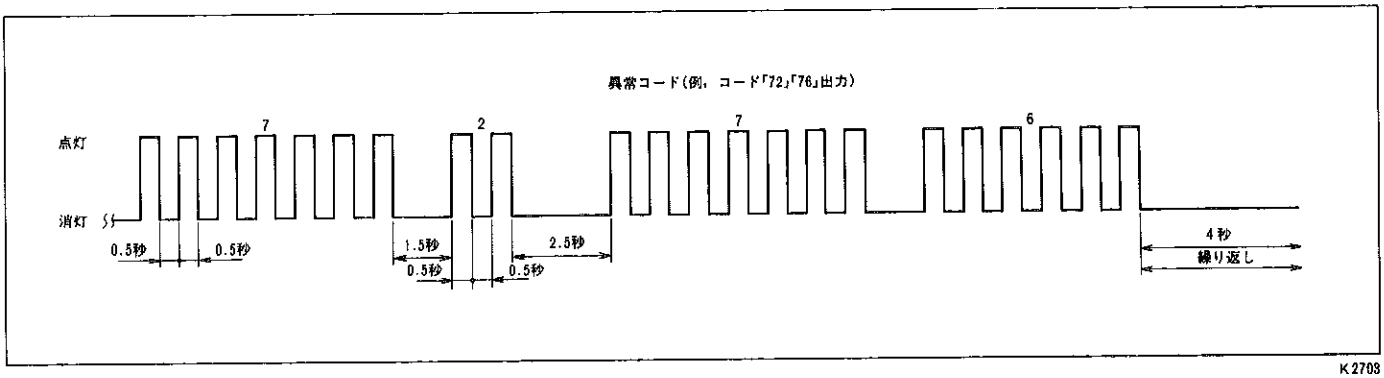


K2702

(7) ABSウォーニングランプの点滅回数を読み取る。

〈参考〉 • 正常の場合は，0.12秒点灯，0.12秒消灯を繰り返す。

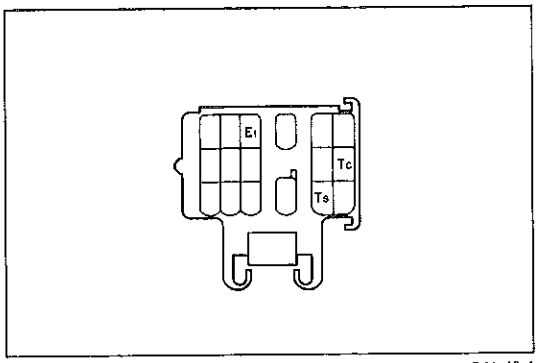
• 異常箇所（異常表示コード）が2項目以上ある場合は，コード番号の小さいものから順に表示する。



K2703

• 異常表示コード一覧表

コード番号	診断項目	点滅周期
71	フロント右スピードセンサー出力電圧不足	点灯 消灯
72	フロント左スピードセンサー出力電圧不足	点灯 消灯
73	リヤ右スピードセンサー出力電圧不足	点灯 消灯
74	リヤ左スピードセンサー出力電圧不足	点灯 消灯
75	フロント右スピードセンサー出力電圧変動大	点灯 消灯
76	フロント左スピードセンサー出力電圧変動大	点灯 消灯
77	リヤ右スピードセンサー出力電圧変動大	点灯 消灯
78	リヤ左スピードセンサー出力電圧変動大	点灯 消灯



SH-18-1

(8) エンジンを停止し，ダイアグノーシスコネクターTs－E1，Tc－E1端子間を開放する。

〈参考〉 スピードセンサー点検用の異常コードの記憶は，Ts－E1端子間を開放すると消去される。

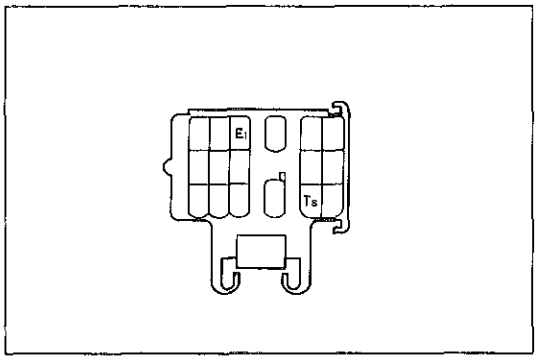
無断複製禁止

デセラレーションセンサー機能点検

注意　ダイアグノーシス記憶中に点検を行う場合は，ダイアグノーシスの記憶を消去してから点検する。

1　バッテリー電圧点検

基準値　10～14V（エンジン停止中）



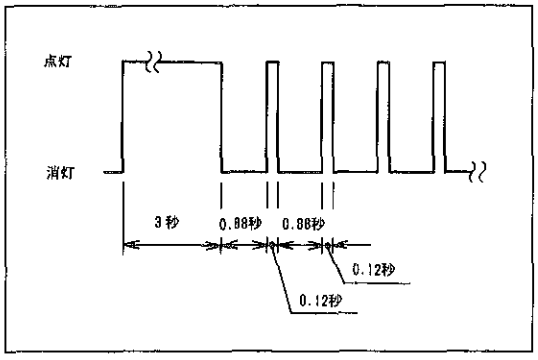
SH-18-1

2　デセラレーションセンサー作動点検

(1) イグニッションスイッチをOFFにする。

(2) ダイアグノーシスコネクターのカバーを開け，Ts－E1端子間を短絡する。

注意　コネクターの接続位置を間違えると故障の原因となるため絶対に間違えない。



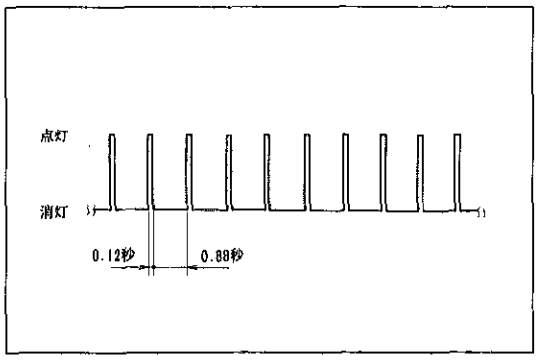
X1107

(3) パーキングブレーキレバーを引き，ブレーキペダルを踏みながらイグニッションスイッチをONにする。

(4) ABSウォーニングランプが図のように点滅することを確認する。

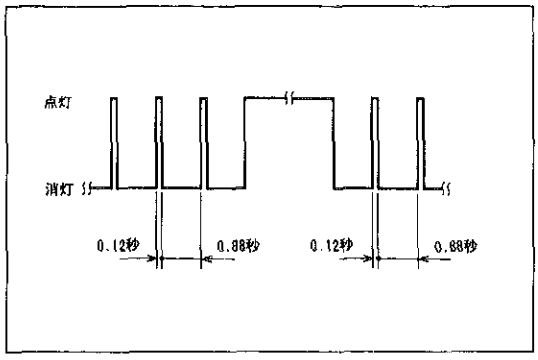
〈参考〉　デセラレーションセンサーの出力電圧が異常な場合，ABSウォーニングランプは点灯し続ける。

(5) エンジンを始動する。



K2706

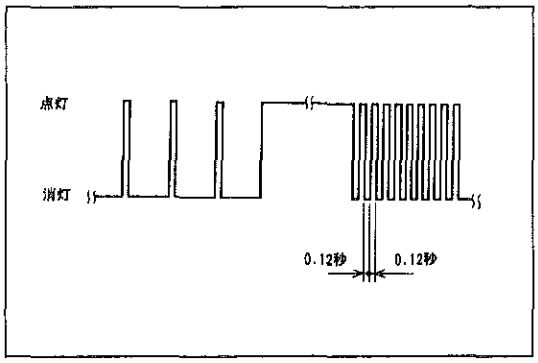
(6) 車速20km/h以上で走行し，ブレーキペダルを軽く踏んだとき，ABSウォーニングランプが点滅状態であることを点検する。



K2707

(7) 車速20km/h程度以上で走行し，ブレーキペダルを少し強く踏んだとき，ABSウォーニングランプが点滅→点灯→点滅と変化することを点検する。

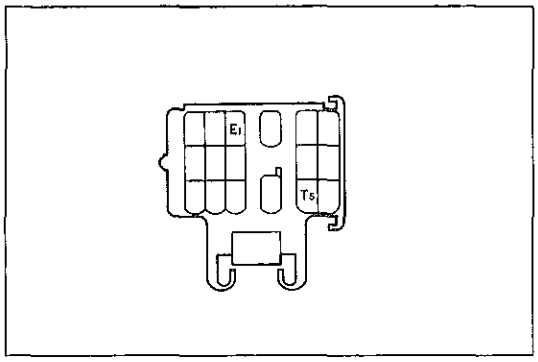
無断複製禁止



K2708

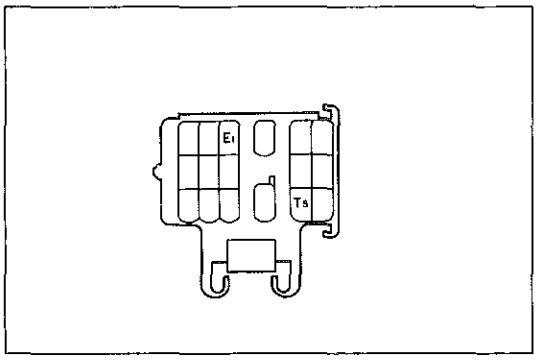
(8) 車速20km/h程度以上で走行し，ブレーキペダルを強く踏み込んだとき，ABSウォーニングランプが点滅から点灯し，速い点滅に変化することを点検する。

注意 ABSは作動しない。



SH-18-1

(9) エンジンを停止し，ダイアグノーシスコネクターTs－E1端子間を開放する。



SH-18-1

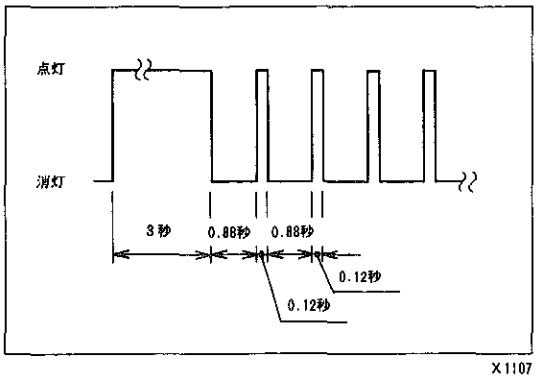
3 デセラレーションセンサー取り付け状態点検

注意 • 空車状態で点検する。
• 水平な場所で点検する。

(1) イグニッションスイッチをOFFにする。

(2) ダイアグノーシスコネクターのカバーを開け，Ts－E1端子間を短絡する。

注意 コネクターの接続位置を間違えると故障の原因となるため絶対に間違えない。

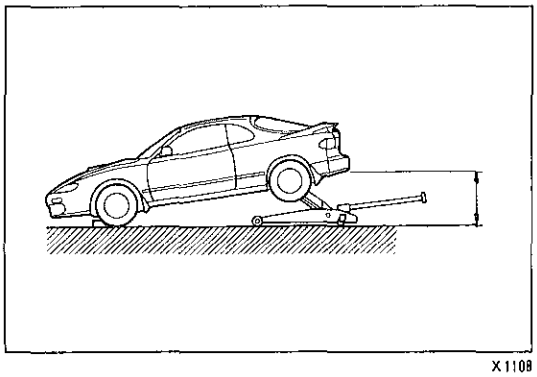


X1107

(3) パーキングブレーキレバーを引き，ブレーキペダルを踏みながらイグニッションスイッチをONにする。

(4) ABSウォーニングランプが図のように点滅することを確認する。

〈参考〉 デセラレーションセンサーの出力電圧が異常な場合，ABSウォーニングランプは点灯し続ける。

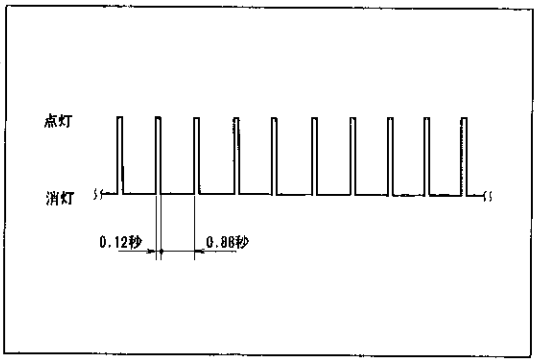

X1108

(5) 車両後部をゆっくりとジャッキアップし，車両中心部のバンパーの最下部までの高さを基準値にする。

基準値 70± 3 cm

注意 フロントホイールに輪止めをする。

無断複製禁止

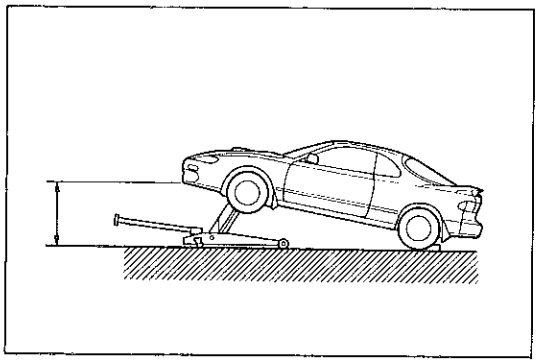


K2706

(6) ABSウォーニングランプが図のように点滅していることを点検する。

〈参考〉 ABSウォーニングランプが点灯または速い点滅を繰り返す場合は，デセラレーションセンサーの取り付け状態の異常が考えられる。

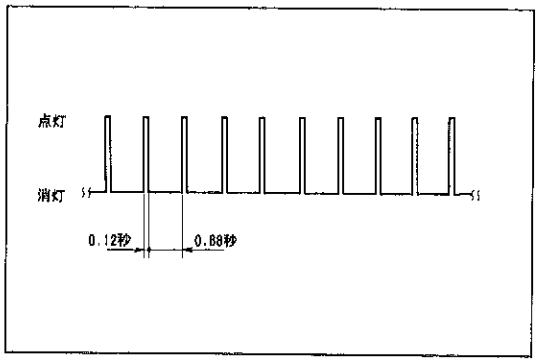
(7) 車両後部をゆっくりとジャッキダウンする。


X1109

(8) 車両前部をゆっくりとジャッキアップし，車両中心部のバンパーの最下部までの高さを基準値にする。

基準値 57± 3 cm

注意 **リヤホイールに輪止めをする。**

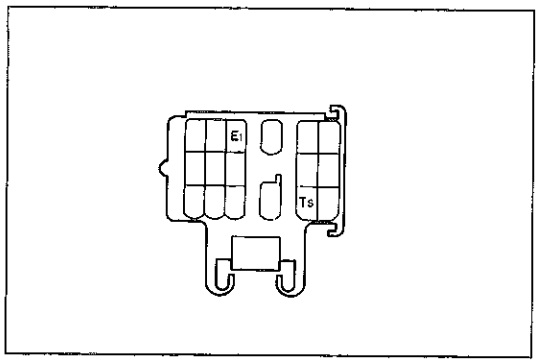


K2706

(9) ABSウォーニングランプが図のように点滅していることを点検する。

〈参考〉 ABSウォーニングランプが点灯または速い点滅を繰り返す場合は，デセラレーションセンサーの取り付け状態の異常が考えられる。

(10) 車両前部をゆっくりとジャッキダウンする。



SH-18-1

(11) イグニッションスイッチをOFFにして，ダイアグノーシスコネクターTs－E1端子間を開放する。

無断複製禁止

トラブルシューティング

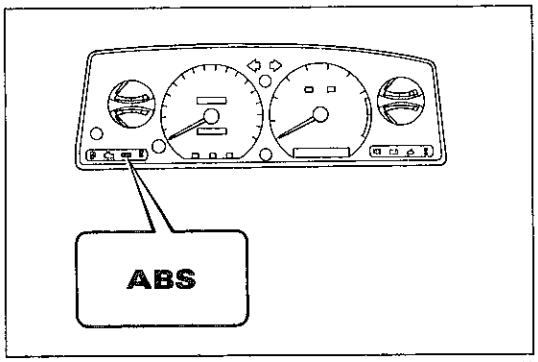
トラブルシューティングの進め方

(1) バッテリー電圧を点検する。

基準値　10～14V（エンジン停止時）

(2) ダイアグノーシスを点検する。

(3) 不具合現象に該当するチャートに従って点検する。



AD0188

ダイアグノーシス点検

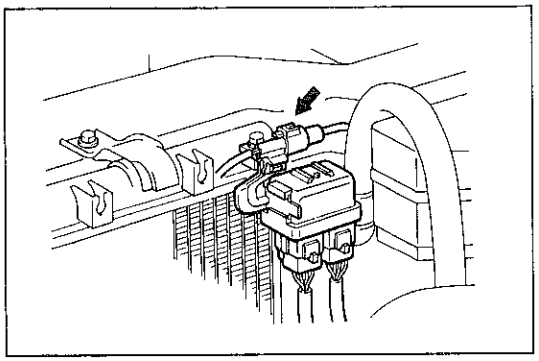
1 フェイルセイフ機能

(1) ABSコンピューターの信号系統に異常が発生した場合，ABSウォーニングランプを点灯し，異常を表示する。同時に，スキッドコントロールリレーをOFFにして，アクチュエーターソレノイドへの制御信号を禁止し，通常のブレーキ機能に戻す。

(2) ABSコンピューターに異常が発生した場合も，ABSウォーニングランプを点灯して，異常表示とともに，スキッドコントロールリレーをOFFにする。

2 ダイアグノーシス点検

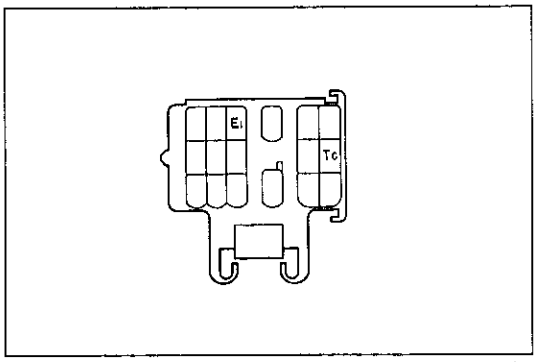
(1) 点検コネクター（1P）を切り離す。



X0738

(2) ダイアグノーシスコネクターのカバーを開け，Tc－E1端子間を短絡する。

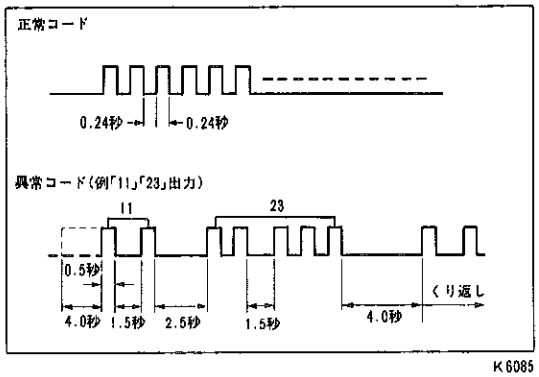
注意　コネクターの接続位置を間違えると故障の原因になるため絶対に間違えない。



SH-18-1

(3) イグニッションスイッチをONにして，ABSウォーニングランプの点滅回数を読み取る。

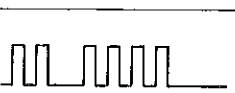
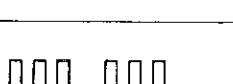
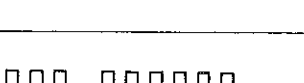
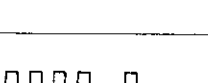
注意
- 正常な場合は，0.24秒間隔で点滅する。
- 異常コードが1つの場合は4秒の間隔をおいて，同一コードを出力し，複数のコードを出力する場合は，異なるコードを2.5秒間隔で出力し，一順すると4秒間隔をおいて再度出力する。
- 複数のコードを出力する場合は，コード番号の小さいものから順に出力する。



K6085

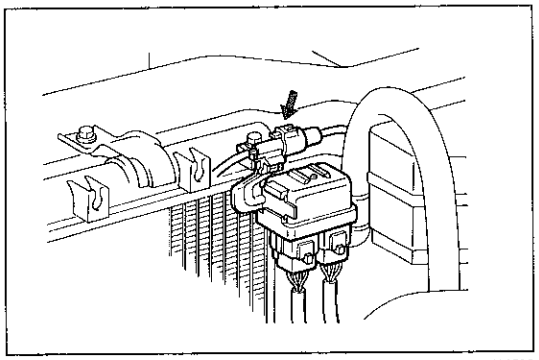
無断複製禁止

〈参考〉 ダイアグノーシスコード一覧表

コード番号	診断項目	点滅周期	診断内容	点検内容
11	ソレノイドリレー系断線		リレー ON時にリレー接点OFF状態が0.2秒以上続いた時	①ソレノイドリレー(接点，コイル) ②ソレノイドリレー系ワイヤハーネス，コネクター
12	ソレノイドリレー系ショート		イグニッションスイッチ ON直後 リレー OFF時にリレー接点ON状態が0.2秒以上続いた時	
13	モーターリレー系断線		チェック時または制御中，リレーON時にリレー接点OFF状態が0.2秒以上続いた時	①モーターリレー(接点，コイル) ②モーターリレー系ワイヤハーネス，コネクター
14	モーターリレー系ショート		リレー OFF時にリレー接点ON状態が2秒以上続いた時	
21	アクチュエーターフロント右ソレノイド系断線またはショート		フロントソレノイド(SFR)の断線，ショート状態が0.2秒以上続いた時	①アクチュエーターソレノイドコイル ②アクチュエーターソレノイド系ワイヤハーネス，コネクター
22	アクチュエーターフロント左ソレノイド系断線またはショート		フロントソレノイド(SFL)の断線，ショート状態が0.2秒以上続いた時	
23	アクチュエーターリヤ右ソレノイド系断線またはショート		リヤソレノイド(SRR)の断線，ショート状態が0.2秒以上続いた時	
24	アクチュエーターリヤ左ソレノイド系断線またはショート		リヤソレノイド(SRL)の断線，ショート状態が0.2秒以上続いた時	
31	フロント右スピードセンサー系の断線		車速10km/h以上で不具合輪のセンサー信号回路の断線が5～10秒以上続いた時	①スピードセンサー ②スピードセンサー系ワイヤハーネス，コネクター ③センサーローター
32	フロント左スピードセンサー系の断線			
33	リヤ右スピードセンサー系の断線			
34	リヤ左スピードセンサー系の断線			
35	フロント左またはリヤ右スピードセンサー系断線		イグニッションスイッチ ON後，数秒後から，フロント左またはリヤ右スピードセンサー系断線が0.8秒以上続いた時	
36	フロント右またはリヤ左スピードセンサー系断線		イグニッションスイッチ ON後，数秒後から，フロント右またはリヤ左スピードセンサー系断線が0.8秒以上続いた時	
41	電圧異常		コンピューターのIG端子電圧で，車速3km/h以上の時9～10V以下または16～18V以上が10秒以上続いた時	①バッテリー ②レギュレーター

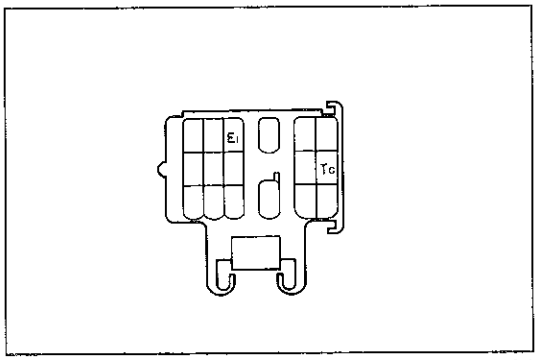
無断複製禁止

コード番号	診断項目	点滅周期	診断内容	点検内容
43	デセラレーションセンサー内部異常	点灯 消灯	車速が0 km/hから，一旦30km/h以上になり，0 km/hになるまでの間にセンサー出力が変化しないことを16回以上繰り返した時	①デセラレーションセンサー ②デセラレーションセンサー系ワイヤハーネス，コネクター
44	デセラレーションセンサー断線またはショート	点灯 消灯	出力電圧異常値(4.5V以上または0.5V以下)が1秒連続した時	
51	アクチュエーター油圧ポンプモーターのロック	点灯 消灯	チェック時，アクチュエーターポンプ駆動モーターが正常に回転していない場合	①アクチュエーターモーター系ワイヤハーネス，コネクター，アースボルト ②モーターリレー ③バッテリー ④アクチュエーター(モーター，ポンプ)
常灯	コンピューター異常	点灯 消灯	コンピューター内部異常	①ABSコンピューター


X0738

(4) 点検用コネクター（1P）を接続する。

注意 **異常箇所がある場合は，修理後，ABSコンピューター内の記憶を消去する。**



SH-18-1

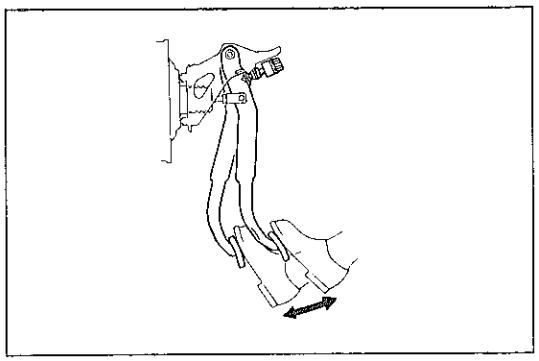
(5) ダイアグノーシスコネクターTc－E1端子間を開放する。

3 ダイアグノーシスコード消去

(1) ダイアグノーシスコネクターのカバーを開け，Tc－E1端子間を短絡する。

注意 **コネクターの接続位置を間違えると故障の原因になるため絶対に間違えない。**

(2) イグニッションスイッチをONにする。


K4547

(3) ブレーキペダルを踏み，3秒間に8回以上ストップランプスイッチのON，OFFを繰り返す。

注意 **• 消去できなかった場合は，操作を繰り返す。**
• 消去後，ABSウォーニングランプが正常コードであることを確認する。

(4) ダイアグノーシスコネクターTc－E1端子間を開放する。

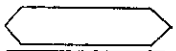
(5) ABSウォーニングランプが消灯していることを確認する。

無断複製禁止

現象別チャート

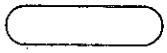
注意 不具合現象を把握し，該当するフローチャートに従って点検する。

1 フローチャートの見方


……作業する項目


……点検する項目

- 条件の記入のない項目はイグニッションスイッチ ONで行う。
- コンピューター等の端子記号は回路図による。


……不具合要因

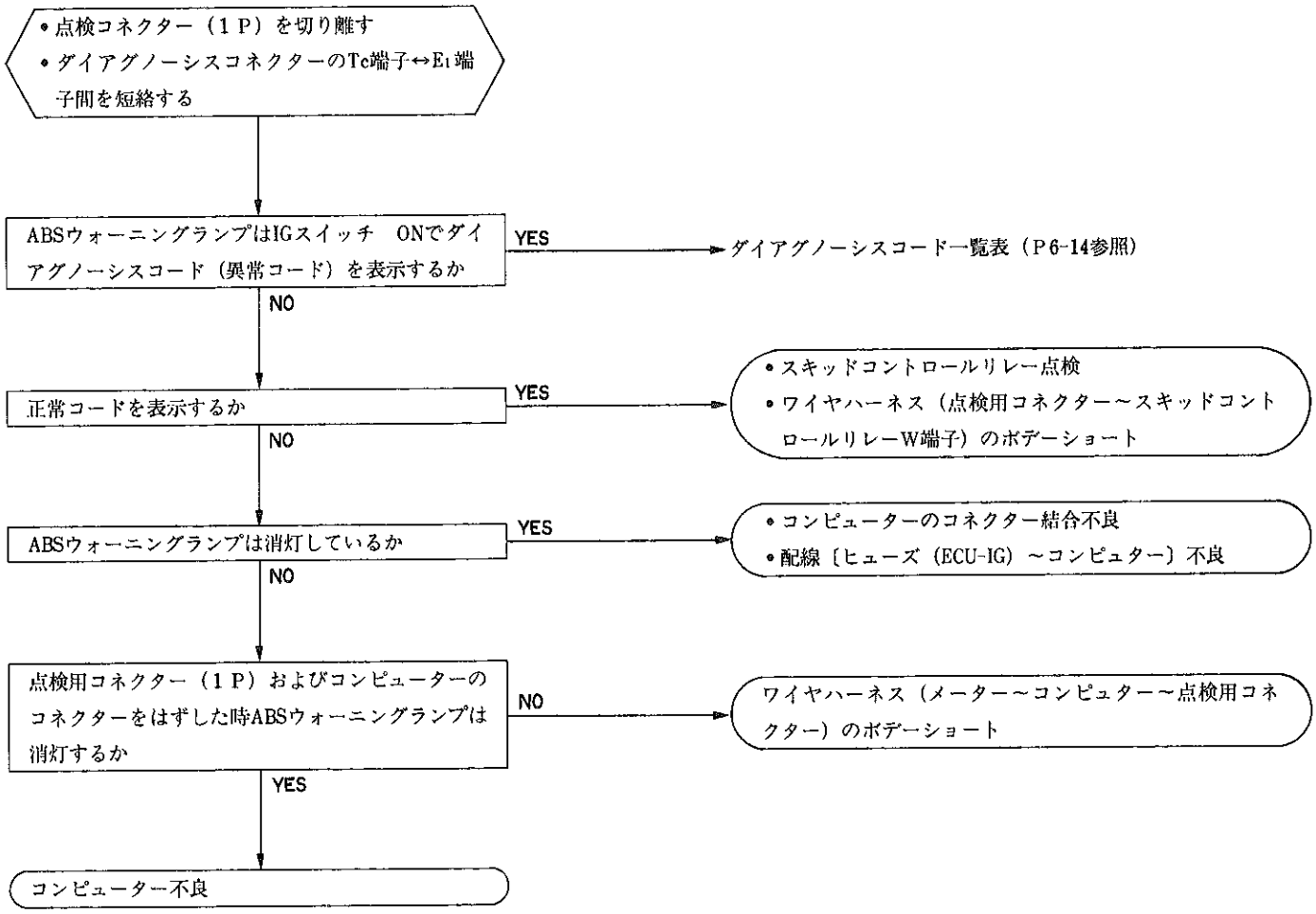
- ワイヤハーネス系も含む。

2 不具合チャート

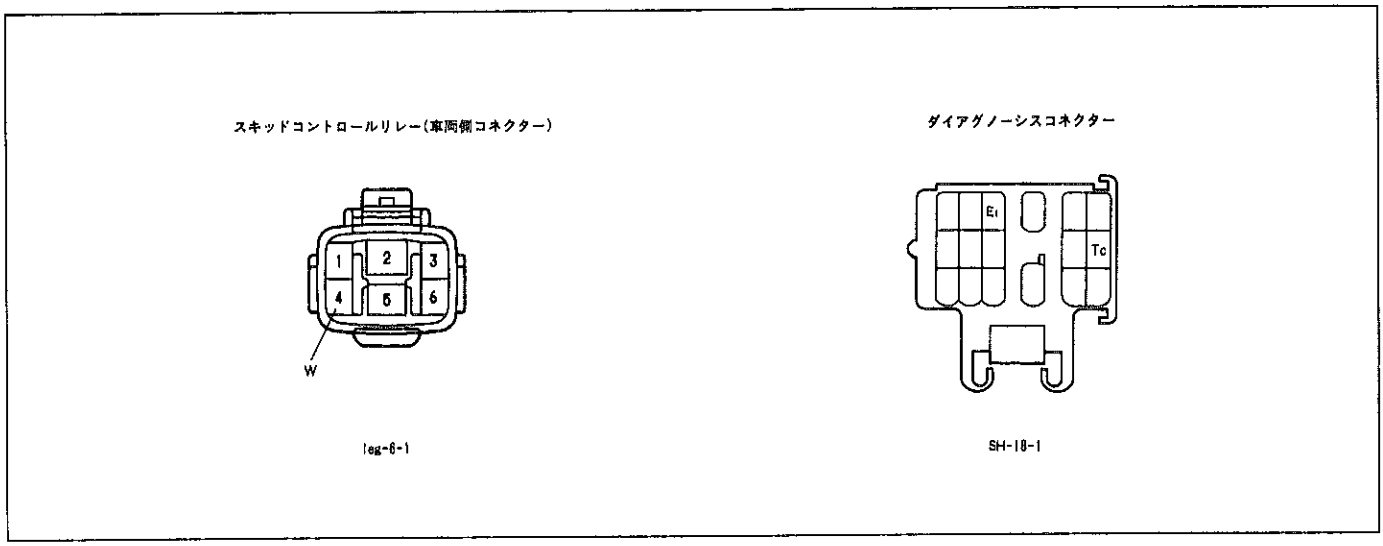
故障現象		フローチャートNo.
ABSウォーニングランプ	イグニッションスイッチ ON直後から常灯	1
	イグニッションスイッチ ON直後3秒間点灯せず	2
	点滅	3
	走行中点灯	4
ブレーキ作動	片効き(ハンドルとられ)	4
	効き不足	4
	通常ブレーキでABS作動	4
	通常ブレーキで停止直前ABS作動	4
	ABS作動時，ブレーキペダル振動大	4
	ABS作動時，スキッド音大(作動しにくい)	5

無断複製禁止

1 ABSウォーニングランプが常灯する



〈参考〉 コネクター端子位置



無断複製禁止

2　ABSウォーニングランプがイグニッションスイッチ　ON直後３秒間点灯しない

IGスイッチ　ONの状態で点検コネクター（１P）を切り離し，メス側コネクターの端子をボデーアースする

ABSウォーニングランプは点灯するか
- NO → • ABSウォーニングランプ点検 • 配線〔ヒューズ（GAUGE）～メーター〕不良
- YES ↓

スキッドコントロールリレーは正常か
- NO → スキッドコントロールリレー不良
- YES ↓

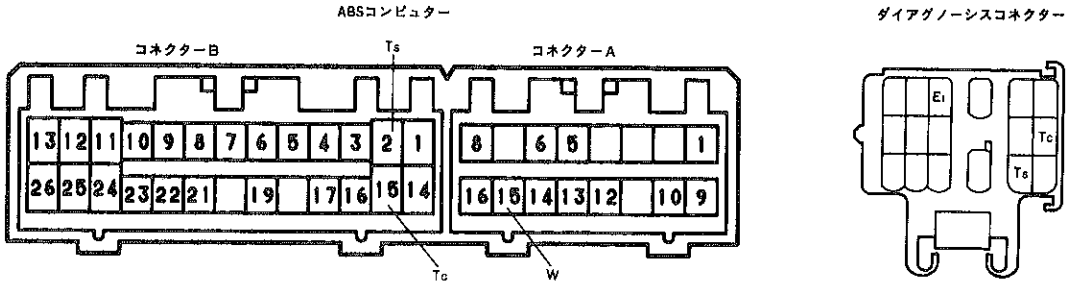
コンピューターW端子の電圧を点検する
基　準　IGスイッチ　ON後約３秒間１Ｖ以下
→10～14Ｖ
- NO → コンピューター不良
- YES ↓

配線（メーター～コンピューター）不良

3　車両停止中ABSウォーニングランプ点滅

- ダイアグノーシスコネクターのTcまたはTs端子とE1端子間の開放忘れ
- コンピューターのTcまたはTs端子とダイアグノーシスコネクターのTcまたはTs端子間のワイヤハーネスがボデーとショート

〈参考〉　コネクター端子位置



無断複製禁止

4 ブレーキ作動上の不具合

- 点検コネクター（1P）を切り離す
- ダイアグノーシスコネクターのTc端子↔E1端子間を短絡する。

ABSウォーニングランプはIGスイッチ　ONで正常コードを点滅するか
- NO → ダイアグノーシスコード一覧表（P6-14参照）
- YES ↓

各スピードセンサーの取り付け状態は正常か，取り付けボルトはゆるんでいないか
- NO → スピードセンサー取り付け不良
- YES ↓

コンピューターのコネクターを切り離し，ハーネス側の各センサー端子間の導通を点検する

ワイヤハーネス，コネクター部を動かした時，導通状態に異常があるか
- YES → ワイヤハーネス結合不良
- NO ↓

- スピードセンサー機能点検（P6-8参照）
- フロントスピードセンサー点検
- リヤスピードセンサー点検（P6-21参照）

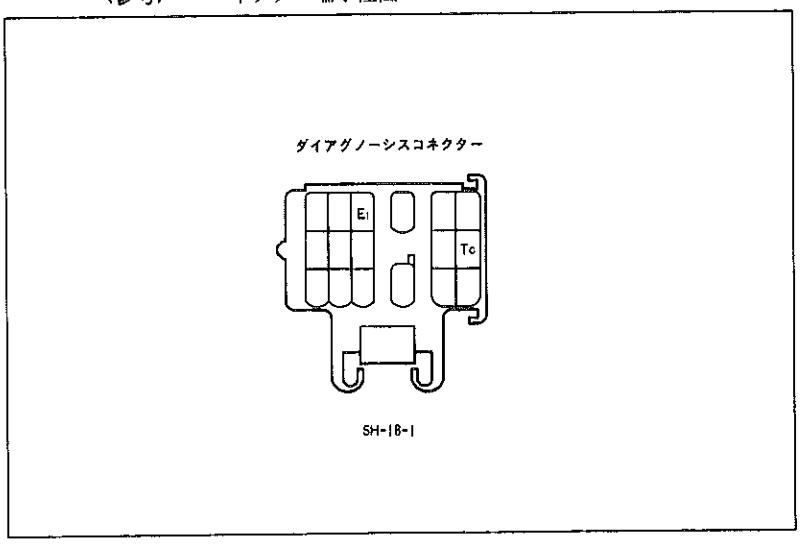
NO →
- スピードセンサー不良
- ローター不良
- スピードセンサー異物付着

YES ↓

デセラレーションセンサーは正常か（P6-10参照）
- NO → デセラレーションセンサーまたはデセラレーションセンサー取り付け状態不良
- YES ↓

ブレーキアクチューエーター作動点検

〈参考〉　コネクター端子位置



無断複製禁止

5 ABSが作動しにくい

- 点検コネクター（１Ｐ）を切り離す
- ダイアグノーシスコネクターのTc端子↔E1端子間を短絡する

↓

ABSウォーニングランプはIGスイッチ　ONで正常コードは点滅するか

NO → ダイアグノーシスコード一覧表（Ｐ6-14参照）

YES ↓

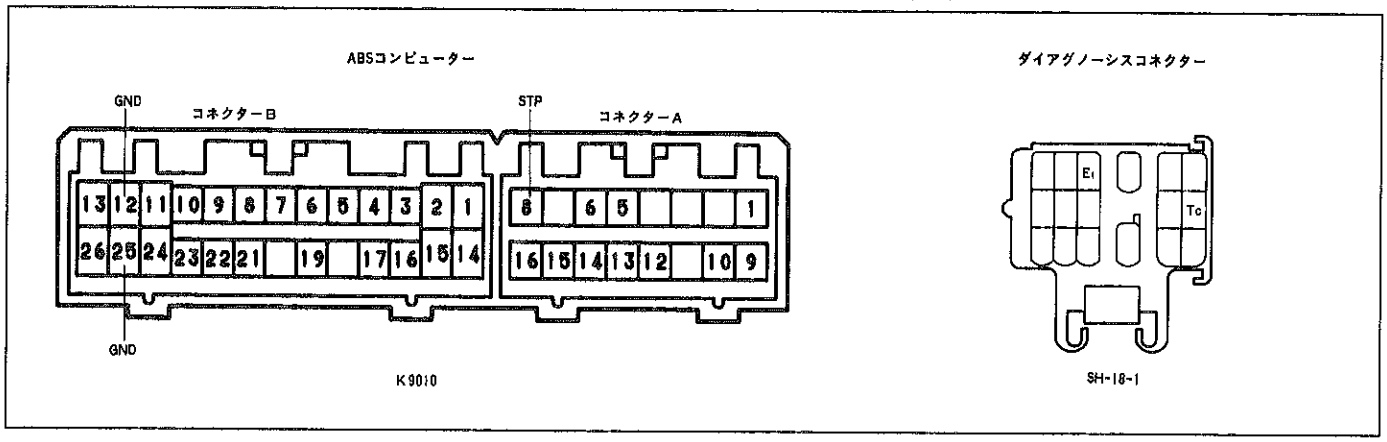
ブレーキペダルを踏んだ時，コンピューターSTP端子↔GND端子間に10～14Ｖあるか

NO →
- ストップランプスイッチ点検
- 配線（ストップランプスイッチ～コンピューター）不良

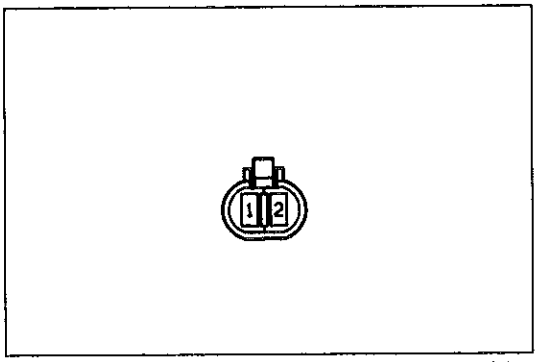
YES ↓

ブレーキアクチュエーター作動点検

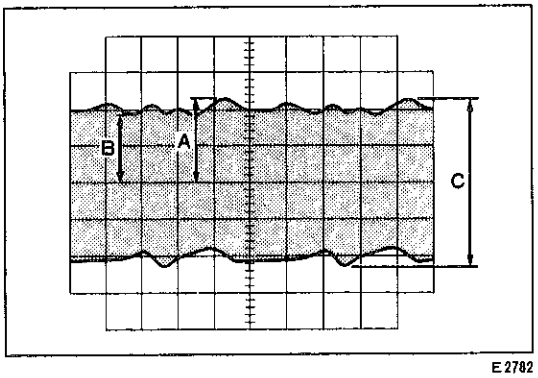
〈参考〉　コネクター端子位置



無断複製禁止



I S-2-1-B



E 2782

単体点検

リヤスピードセンサー

1 スピードセンサー点検

(1) コネクター端子間の抵抗を測定する。

基準値 0.8～1.3ｋΩ

〈参考〉 オシロスコープによる点検

スピードセンサーコネクターにオシロスコープを接続し，20km/hで走行し，走行中のスピードセンサーの出力波形を点検する。

基 準 Cは0.5Ｖ以上で，BはAの50%以上

Cが基準外の場合は，スピードセンサーを新品と交換する。

Bが基準外の場合は，リヤドライブシャフトASSYを新品と交換する。

2 スキッドコントロールローター点検

(1) リヤドライブシャフトのスキッドコントロールローターを点検する。

基 準 ローターに傷つきがない

デセラレーションセンサー

(1) バッテリー電圧を点検する。

基準値 10～14Ｖ

(2) テスターにテストリードを接続し，各端子とボデーアース間の電圧または導通を点検する。

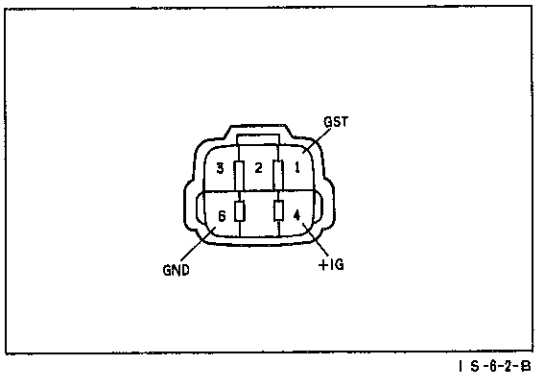
注意 **コネクターをデセラレーションセンサーに接続しておき，コネクター裏側から点検する。**

基準値

端子記号	項目	測 定 条 件	基 準 値
GST	Hz	IGスイッチ ON後約1.5秒後	（点灯）
+IG	電圧	IGスイッチ ON	10～14Ｖ
GND	導通	IGスイッチ OFF	導通あり

（ ）内はHzレンジでのバー表示

〈参考〉 GST端子が基準値外の場合は，ABSコンピューターまたはワイヤハーネスの不具合が考えられる。



I S-6-2-B

無断複製禁止

ABSコンピューター

(1) バッテリー電圧を点検する。

基準値　10～14V

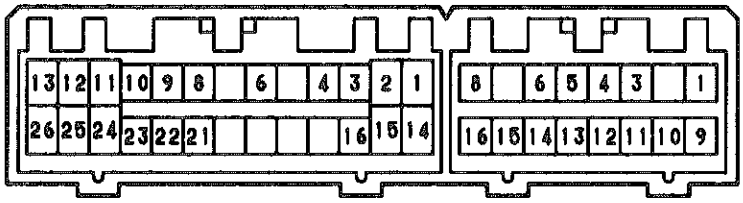
(2) テスターにテストリードを接続し，各端子とボデーアース間の電圧および導通を点検する。

注意 • コネクターをコンピューターに接続しておき，コネクター裏側から点検する。

• 水平な場所で点検する。

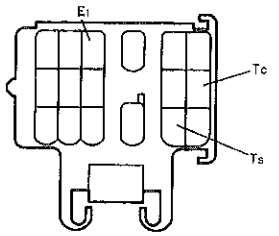
基準値

ABSコンピューター



K9010

ダイアグノーシスコネクター



SH-18-1

コネクター	端子番号	端子記号	入出力	項目	測定条件	基準値（ ）内はHzレンジでのバー表示	基準値外の場合の不具合箇所
A	1	IG	入力	電圧	IGスイッチ　ON	10～14V	ECU-IGヒューズ
	3	GS 1	入力	電圧	IGスイッチ　ON（車両水平状態）	4～6V または7～11V	デセラレーションセンサー
	4	GS 2	入力	電圧	IGスイッチ　ON（車両水平状態）	4～6V	
	5	RL−	入力	導通	IGスイッチ　OFF	導通あり	ABSコンピューター
	6	RR+	入力	Hz	IGスイッチ　ON　右リヤホイールをゆっくり回転	（点灯）	右リヤスピードセンサー
	8	STP	入力	電圧	IGスイッチ　OFF　ストップランプスイッチ　ON	10～14V	ストップランプスイッチ
				導通	IGスイッチ　OFF　ストップランプスイッチ　OFF	導通あり	
	9	BAT	入力	電圧	IGスイッチ　OFF	10～14V	ECU-Bヒューズ
	11	GST	出力	Hz	IGスイッチ　ON後約1.5秒後	（点灯）	ABSコンピューター
	12	RSS	入力	導通	IGスイッチ　OFF	導通あり	
	13	RL+	入力	Hz	IGスイッチ　ON　左リヤホイールをゆっくり回転	（点灯）	左リヤスピードセンサー
	14	RR−	入力	導通	IGスイッチ　OFF	導通あり	ABSコンピューター
	15	W	入力	電圧	IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ点灯時	2V以下	メーター，ABSコンピューター
					IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ消灯時	10～14V	
	16	PKB	入力	電圧	IGスイッチ　ON　パーキングブレーキスイッチ　ON	1V以下	パーキングブレーキスイッチレベルウォーニングスイッチ
					IGスイッチ　ON　パーキングブレーキスイッチ　OFF	10～14V	
B	1	SFR	入力	電圧	IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ点灯時	1V以下	ブレーキアクチュエーター
					IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ消灯時	10～14V	
	2	TS	入力	電圧	IGスイッチ　ON　ダイアグノーシスコネクター　Ts-E1端子間開放	10～14V	ABSコンピューター
					IGスイッチ　ON　ダイアグノーシスコネクター　Ts-E1端子間短絡	1V以下	
	3	D/G	出力	電圧	IGスイッチ　ON　ダイアグノーシスコネクター　Tc-E1端子間開放	1V以下→10～14V	
				Hz	IGスイッチ　ON　ダイアグノーシスコネクター　Tc-E1端子間短絡	（点灯）※	
	8	FR−	入力	導通	IGスイッチ　OFF	導通あり	
	9	FL+	入力	Hz	IGスイッチ　ON　左フロントホイールをゆっくり回転	（点灯）	左フロントスピードセンサー
	10	R−	入力	導通	IGスイッチ　OFF	導通あり	ABSコンピューター
	11	SR	出力	電圧	IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ点灯時	1V以下	
					IGスイッチ　ON　ABSウォーニングランプ消灯時	10～14V	

無断複製禁止

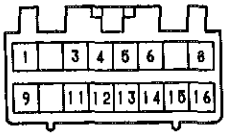
コネクター	端子番号	端子記号	入出力	項目	測定条件	基準値（）内はHzレンジでのバー表示	基準値外の場合の不具合箇所
B	12	GND	入力	導通	IGスイッチ OFF	導通あり	ボデーアース
	15	TC	入力	電圧	IGスイッチ ON ダイアグノーシスコネクター TC-E1端子間開放	10～14V	ABSコンピューター
					IGスイッチ ON ダイアグノーシスコネクター TC-E1端子間短絡	1V以下	
	16	AST	入力	電圧	IGスイッチ ON ABSウォーニングランプ点灯時	1V以下	ブレーキアクチュエーター
					IGスイッチ ON ABSウォーニングランプ消灯時	10～14V	
	21	FR＋	入力	Hz	IGスイッチ ON 右フロントホイールをゆっくり回転	（点灯）	右フロントスピードセンサー
	22	FL－	入力	導通	IGスイッチ OFF	導通あり	ABSコンピューター
	23	FSS	入力	導通	IGスイッチ OFF	導通あり	
	25	GND	入力	導通	IGスイッチ OFF	導通あり	ボデーアース

※D/G端子（Hz）の点滅周期は，ダイアグノーシスコードを出力する。

(3) イグニッションスイッチをOFFにして，コンピューターからコネクターを切り離し，車両側コネクターで，各端子間またはボデーアース間の抵抗および導通を点検する。

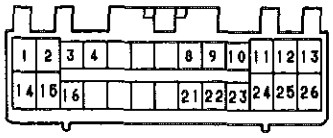
基準値

コネクターA



Vd-16-1

コネクターB



Vd-26-1

コネクター	端子番号	端子記号	項目	測定条件〔測定端子間〕	基準値	基準値外の場合の不具合箇所
A	6	RR＋	抵抗	IGスイッチ OFF〔RR＋↔RR－（A14）〕	0.8～1.3kΩ	右リヤスピードセンサー
	13	RL＋	抵抗	IGスイッチ OFF〔RL＋↔RL－（A5）〕	0.8～1.3kΩ	左リヤスピードセンサー
B	1	SFR	抵抗	IGスイッチ OFF〔SFR↔AST（B16）〕	約6Ω	ブレーキアクチュエーター
	4	MT	導通	IGスイッチ OFF〔MT↔ボデーアース〕	導通あり	
	9	FL＋	抵抗	IGスイッチ OFF〔FL＋↔FL－（B22）〕	0.8～1.5kΩ	左フロントスピードセンサー
	11	SR	抵抗	IGスイッチ OFF〔SR↔R－（B10）〕	60～100Ω	スキッドコントロールリレー
	13	SFL	抵抗	IGスイッチ OFF〔SFL↔AST（B16）〕	約6Ω	ブレーキアクチュエーター
	14	SRL	抵抗	IGスイッチ OFF〔SRL↔AST（B16）〕	約6Ω	
	16	AST	抵抗	IGスイッチ OFF〔AST↔ボデーアース〕	約5Ω	
	21	FR＋	抵抗	IGスイッチ OFF〔FR＋↔FR－（B8）〕	0.8～1.5Ω	右フロントスピードセンサー
	24	MR	抵抗	IGスイッチ OFF〔MR↔R－（B10）〕	50～80Ω	スキッドコントロールリレー
	26	SRR	抵抗	IGスイッチ OFF〔SRR↔AST（B16）〕	約6Ω	ブレーキアクチュエーター

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止